

天草教育研究所 各部門から

県大会に向けて 1年間を振り返って

令和二年度熊本県小学校理科教育 研究大会 天草大会の開催に向けて

理科部門 会長 沼田 龍弥

理科部門では、令和二年度に開催予定されている第六十一回熊本県小学校理科教育研究大会天草大会に向け準備を行っています。研究テーマを「資質・能力を育む主体的な理科学習」・理科の見方・考え方を生かした問題解決の学習として研究および授業づくりを進めているところです。今年度は、十月十八日に本町小学校において研究会

した。当日の授業研究会では理科部門に所属の各校の先生方に参加いただき意見交換が行われました。前述の視点について来年度からの新学習指導要領の実施を踏まえた様々な意見を出していただき、充実した研究会となりました。また、十月十一日には亀川小学校において理論研修を行いました。県小理の研究員松山明道先生を招聘し、これから大きく進展するグローバル化、情報化の社会に対応するための問題解決能力の育成等について講話いただきました。



第五十八回熊本県小学校社会科 研究大会天草大会に向けて

社会科部門 会長 外濱 隆道

社会科部門では来年度開催予定の第五十八回熊本県小学校社会科研究大会天草大会に向けて、小中で連携を図りながら準備を進めています。天草大会では、熊本県小社研研究主題「ともに学び、社会の創り手となる力を育む社会科学習」に向けて、「社会への確かな理解を基に、よりよい社会を考えた主体的に問題解決しようとする子供を育てる社

科学習」というサブテーマを設定しました。新学習指導要領の社会科の改訂の趣旨を踏まえながら「社会と子供たちとの距離を縮める教材開発」「社会科における『主体的・対話的で深い学び』の在り方」「社会と子供をつなぐ評価の工夫」の三点を研究の視点として、これまで蓄積された研究の成果を提案していきたいと考えています。



特別支援教育部門

会長 坂本 吉章

特別支援教育部門では、年四回の担任研修会（一回は選択研修と特別支援学級設置校長協会の事業であるブロック別交流会、都市文化展等と各学校の支援・協力により充実した活動を行うことができました。第一回担任研では、佐伊津小学校の桜井教頭先生に「特別支援教育を通して学んだこと」と題し講話をいただきました。第二回担任研では、

国語部門

会長 長尾 司

生徒たちが主体的に言語活動に向かい、互いの対話により読みを確認し合い、深め合う姿を見ることができました。まさに、生徒達に「字のない葉書」の世界に学び浸っていました。授業研究会後には、「子どもたちが学ぶ国語教室づくり」について達富教授に講演いただき、参加者はこれからの授業づくりに向けて多くの示唆を得ることができました。快く会場を引き受けてくださった田中新作校長先生をはじめ、諸先生方に心より感謝申し上げます。

熊本県南部発達支援センター「わんつ様に」障がい理解するために」と題し講話をいただき、インシデント・プロセス法を取入れた事例検討会を実施しました。第四回担任研では、本年度の夏季県特研で天草代表として発表された牛深中学校の花田浩代教諭の取組を会員で共有しました。また、本年度で四年目となったブロック別交流会は、児童生徒の自主的活動により成果を挙げています。これも各担当校及び会場校の校長先生はじめ会員の先生方のご指導の賜です。誠にありがとうございました。